

希学園 第411回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第411回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年8月2日実施)	https://vimeo.com/1214893984/38a602f42a

1

(1)	6 8 0 0	(2)	2 3 2 7	(3)	9 4	(4)	1 7 1 6
(5)	2 2 9 8 1	(6)	2 5 1 1	(7)	5 3	(8)	8 2
(9)	$\frac{16}{23}$	(10)	㊦ 5 (L)	㊧ 4 5 4 (mL)	(11)	6 9 2 (m)	
(12)	1 0 0 0 (円)	(13)	2 8 (人)	(10)完答)			

2

(1)	3	(2)	3 2 0	(3)	1 7 8 番目
-----	---	-----	-------	-----	----------

3

(1)	9 cm	(2)	1 2 cm	(3)	3 cm
-----	------	-----	--------	-----	------

4

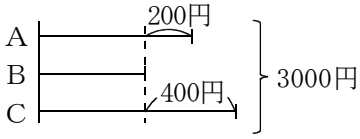
(1)	6 袋	(2)	2 袋	(3)	2 人
-----	-----	-----	-----	-----	-----

5

(1)	4 個	(2)	8 個	(3)	1 6 個
-----	-----	-----	-----	-----	-------

(配点) 各4点×25

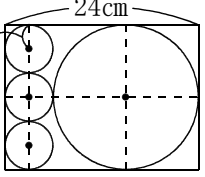
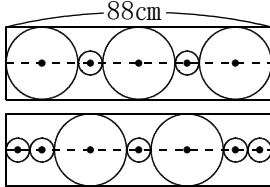
1

- (7) $209 - \square + 122 = 278$
 $209 - \square = 278 - 122 = 156$
 $\square = 209 - 156 = \underline{53}$
- (8) $\square - 41 + 59 = 100$
 $\square = 100 - 59 + 41 = \underline{82}$
- (10) $7\text{ L } 5\text{ dL} - \square \text{ L } \square \text{ mL} = 2\text{ L } 46\text{ mL}$
 $\square \text{ L } \square \text{ mL} = 7500\text{ mL} - 2046\text{ mL}$
 $= 5454\text{ mL} = \underline{5\text{ L } 454\text{ mL}}$
- (11) $6\text{ km } 60\text{ m} - \square \text{ m} - 563\text{ m} = 4\text{ km } 805\text{ m}$
 $6060\text{ m} - \square \text{ m} = 4805\text{ m} + 563\text{ m} = 5368\text{ m}$
 $\square \text{ m} = 6060\text{ m} - 5368\text{ m} = \underline{692\text{ m}}$
- (12) $3000 - 200 - 400 = 2400\text{ (円)}$
 $2400 \div 3 = 800\text{ (円)} \cdots \text{B}$
 $800 + 200 = \underline{1000\text{ (円)}} \cdots \text{A}$

- (13) $60 - 4 = 56\text{ (枚)} \cdots \text{人数} \times 2$
 $56 \div 2 = \underline{28\text{ (人)}}$

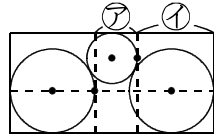
2

- (1) 5, 3, 4, 4, 3, 5の6個のくり返し。
 $80 \div 6 = 13\text{ (セット)} \text{ あまり } \underline{2\text{ (個)}}$
5, 3 $\rightarrow$ 3
- (2) 1セットの和は, $5 + 3 + 4 + 4 + 3 + 5 = 24$
よって, $24 \times 13 + 5 + 3 = \underline{320}$
- (3) 4は1セットに2個ずつ。
 $60 \div 2 = 30\text{ (セット)} \rightarrow 30\text{ セット目の2回目の4}$
 $6 \times 29 + 4 = \underline{178\text{ (番目)}}$

3

- (1) 大円の半径は, 小円の半径3本分。 $\square \text{ cm}$
小円の半径を $\square \text{ cm}$ とすると,
大円の半径は $\square \times 3\text{ (cm)}$
 $\square \times 2 + \square \times 3 \times 2 = \square \times 8 = 24\text{ (cm)}$
 $\square = 3\text{ (cm)}$
よって, 大円の半径は, $3 \times 3 = \underline{9\text{ (cm)}}$

- (2) 長方形の横の長さを,
大円, 小円の直径の長さで表す。
 $大 \times 3 + 小 \times 2 = 大 \times 2 + 小 \times 5$
 $大 \times 1 = 小 \times 3$
小円の直径を $\triangle \text{ cm}$ とすると,
大円の直径は $\triangle \times 3\text{ (cm)}$
 $\triangle \times 3 \times 3 + \triangle \times 2 = \triangle \times 11 = 88\text{ (cm)} \rightarrow \triangle = 8\text{ (cm)}$
大円の直径は, $8 \times 3 = 24\text{ (cm)}$ なので,
半径は, $24 \div 2 = \underline{12\text{ (cm)}}$


- (3) 左はしの大円から考えて, 小円を入れたときに増える横の長さを $\textcircled{7} \text{ cm}$, 大円を入れたときに増える横の長さを $\textcircled{1} \text{ cm}$ とする。
 $大 + \textcircled{7} + \textcircled{1} = 24\text{ cm}$
 $大 + \textcircled{7} \times 3 + \textcircled{1} \times 2 = 43\text{ cm}$
 $大 + \textcircled{7} \times 5 + \textcircled{1} \times 5 = 80\text{ cm}$
 $\textcircled{1} \times 2 = 37 - 19 = 18\text{ (cm)} \rightarrow \textcircled{1} = 9\text{ (cm)}$
小円の直径は, $24 - 9 \times 2 = 6\text{ (cm)}$ なので,
半径は, $6 \div 2 = \underline{3\text{ (cm)}}$



4

- (1) $10 \times 3 - 14 - 10 = \underline{6\text{ (袋)}}$
- (2) 残った袋の中身を考える。
あめに注目すると,
 $2 \times \bigcirc + 1 \times \square = 7$ より,
 $\bigcirc$ と $\square$ の組み合わせは,
 $(\bigcirc, \square) = (1, 5), (2, 3), (3, 1)$
チョコレートに注目すると,
 $1 \times \bigcirc + 2 \times \triangle = 4$ より, $\bigcirc$ と $\triangle$ の組み合わせは,
 $(\bigcirc, \triangle) = (0, 2), (2, 1), (4, 0)$
つまり, $\bigcirc = 2, \triangle = 1, \square = 3$ となる。
よって, Aの袋の残りは2袋。

	あ	ち	く	袋
A	2	1		$\bigcirc$
B		2	1	$\triangle$
C	1		2	$\square$
合計	7	4	7	6
- (3) 女子はCが最大なので順に調べる。
女子のCが7のとき

	A	B	C	合計
男	7	7	0	14
女	1	2	7	10
合計	8	9	7	24

男子のAも7袋になるので不適。
女子のCが6のとき

	A	B	C	合計
男	7	6	1	14
女	1	3	6	10
合計	8	9	7	24

男子のCと女子のAが同じになるので不適。
女子のCが5のとき

	A	B	C	合計
男	7	5	2	14
女	1	4	5	10
合計	8	9	7	24

問題の条件に適する。
女子のCが4のとき

	A	B	C	合計
男	7	4	3	14
女	1	5	4	10
合計	8	9	7	24

女子のBがCより多くなるので不適。
よって, Cの袋を選んだ男子の人数は2人。

5

- (1) 段ごとに上から見た図で考える。
A, C, Dはとなりに黒があるの
で白。白は1列に3個続かないの
でBは黒。よって、黒の個数は4個。
- (2) 黒の個数を多くするには、下の段
の黒の個数を多くすればよいので、
右の図のようになる。
よって、黒の個数は8個。
- (3) 黒のとなりは必ず白に
なるので、まず右の図
1まで決まる。
白は3個続かないので、
㊦と㊧は黒。そのとな
りの㊨は白。
さらに各段の真ん中に
注目すると㊩は黒(図2)。
残りの㊪㊫㊬㊭を考える。
㊪が白のとき、㊫が黒と決まるので㊬㊭は白。
㊪が黒のとき、㊫が白と決まるので㊬㊭は黒。
つまり、㊪が白のとき白の個数が最も多くなる。
よって、白の個数の最大は16個。

配点 ; 各 4 点 × 2 5